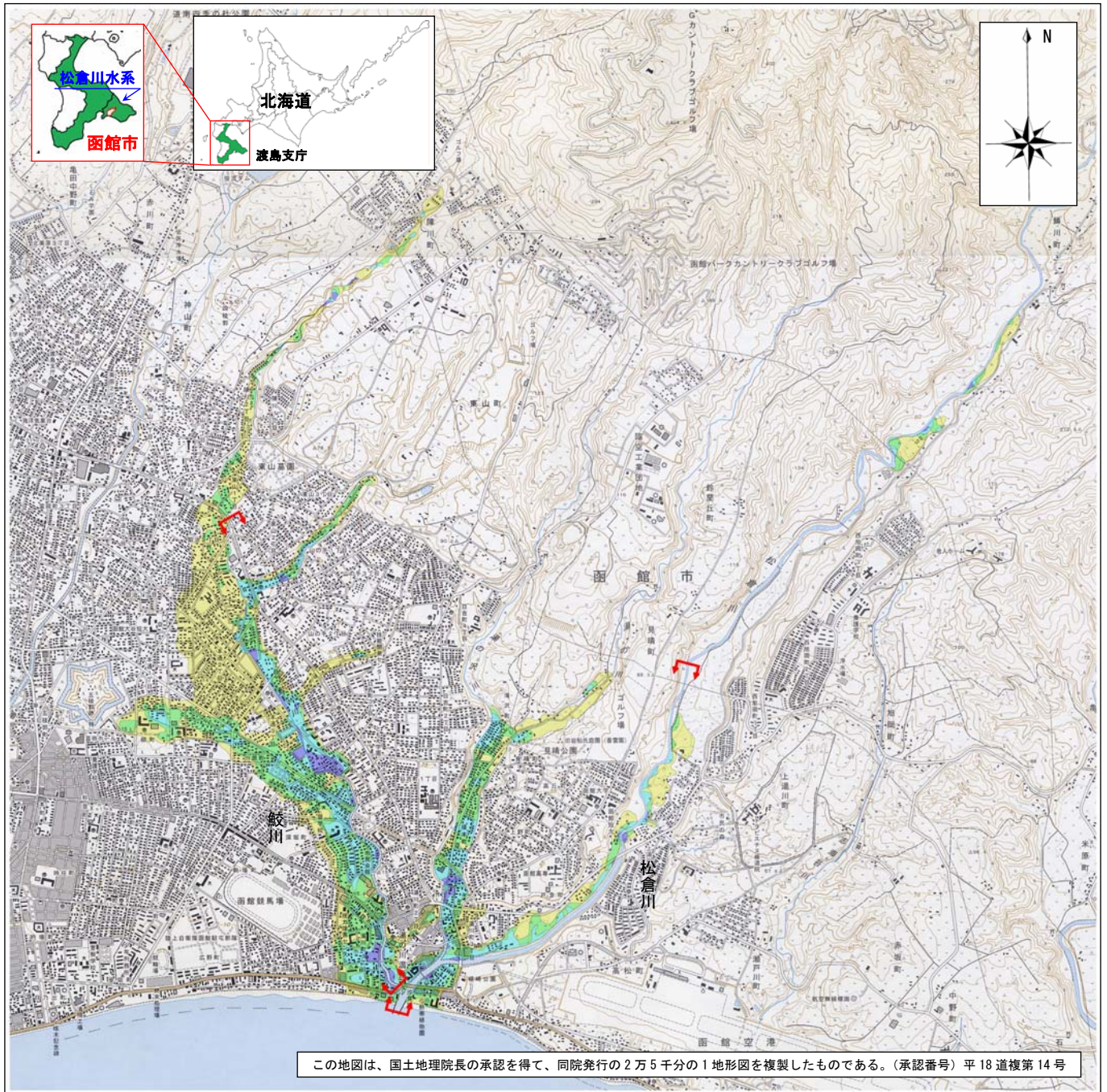


松倉川水系松倉川・鮫川 浸水想定区域図（函館市）



0 0.5 1 2
キロメートル

平成 18 年 7 月 北海道 函館土木現業所

1 説明文

- (1) この図は松倉川水系の松倉川及び鮫川の水位情報周知区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区間が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- (2) この浸水想定区域等は、平成 14 年 10 月 1 日時点の松倉川及び鮫川の河道の整備状況、鮫川における 3 箇所の遊水池等の洪水調節施設の状況等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね 50 年に 1 回程度起こる大雨が降ったことにより、松倉川及び鮫川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 北海道
- (2) 指定年月日 平成 17 年 7 月 1 日
- (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 1 項
- (4) 対象となる水位情報周知河川
松倉川水系松倉川（実施区間：函館市銅山町 5 4 番 1 地先から海まで）
松倉川水系鮫川（実施区間：函館市鍛冶 2 丁目 1 5 0 番 3 1 地先の道道ボックスカルバート下流端から幹川への合流点）
- (5) 指定の前提となる計画の基本となる降雨
流域全体に 24 時間総雨量 186mm、洪水到達時間内（3 時間）に 90mm の降雨がある場合で、昭和 15 年以降最大の昭和 46 年 9 月洪水時の雨量をカバーする降雨
- (6) 関係市町村 函館市
- (7) その他計算条件等
松倉川流域の松倉川、鮫川、湯の川、湯の沢川、深堀川、寺の沢川、七五郎沢川、陣川について、はん濫区域を 25m メッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

凡例

- 浸水深
- ~0.5m未滿
 - 0.5m以上~1.0m未滿
 - 1.0m以上~2.0m未滿
 - 2.0m以上~5.0m未滿
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位情報周知河川

お問い合わせ先 北海道 函館土木現業所 事業部治水課 TEL 0138-47-9641